

その他の便利な機能

● アラーム機能を使う（アラーム）

機能番号52

設定した日付と時刻にアラーム音を鳴らしたり、目覚し時計などとして使うことができます。メッセージや画像を表示させることもできます。アラームは20件まで登録できます。

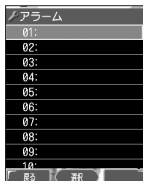
お買い上げ時：
未登録

アラーム設定を登録／編集する

待受画面で

アラーム一覧画面

1 ▶ 5 ▶ 2 ▶ 登録／編集したいアラーム番号を選択し、 【選択】





以下の項目から選択し、必要な項目を登録／編集します。

<input checked="" type="radio"/> 1 <input type="radio"/> アラームON/OFF お買い上げ時： 「ON」	<input checked="" type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 「ON」または <input checked="" type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 「OFF」 <input checked="" type="radio"/> 2 「アラーム時刻」で設定した時刻に、アラームを鳴らすかどうかを設定します。	
	<input checked="" type="radio"/> 2 アラーム時刻 ▶ 時刻（24時制）を入力し、 <input type="radio"/> 【確定】 指定した時刻にアラームを鳴らします。	
<input checked="" type="radio"/> 3 アラーム日付	<input checked="" type="radio"/> 1 日付指定 (年月日)	<input type="radio"/> 【選択】 ▶ 年月日を入力し、 <input type="radio"/> 【確定】 ▶ <input checked="" type="radio"/> 【確定】 指定の年月日の、 <input checked="" type="radio"/> 2 「アラーム時刻」で設定した時刻にアラームを鳴らします。 年月日は西暦（4桁）、月（2桁）、日（2桁）を入力します。
	<input checked="" type="radio"/> 2 毎日	毎日、 <input checked="" type="radio"/> 2 「アラーム時刻」で設定した時刻にアラームを鳴らします。
	<input checked="" type="radio"/> 3 平日（月～金）	平日（月～金）の、 <input checked="" type="radio"/> 2 「アラーム時刻」で設定した時刻にアラームを鳴らします。
	<input checked="" type="radio"/> 4 週末（土、日）	週末（土日）の、 <input checked="" type="radio"/> 2 「アラーム時刻」で設定した時刻にアラームを鳴らします。
	<input checked="" type="radio"/> 5 曜日指定	▶ <input checked="" type="radio"/> 1 ~ <input checked="" type="radio"/> 7（曜日を選択） ▶ <input checked="" type="radio"/> 1 「ON」または <input checked="" type="radio"/> 2 「OFF」 ▶ <input checked="" type="radio"/> 【確定】 指定した曜日の、 <input checked="" type="radio"/> 2 「アラーム時刻」で設定した時刻にアラームを鳴らします。
<input checked="" type="radio"/> 4 アラーム音 お買い上げ時： 「固定パターン」 / 「アラーム音」	<input checked="" type="radio"/> 1 固定パターン	▶ パターンを選択し、 <input type="radio"/> 【選択】 アラーム音を、あらかじめ用意されている10種類のパターンから選択します。
	<input checked="" type="radio"/> 2 メロディ	▶ メロディを選択し、 <input type="radio"/> 【選択】 アラーム音を、あらかじめ用意されている8種類のメロディから選択します。
	<input checked="" type="radio"/> 3 データフォルダ	▶ アラーム音を選択し、 <input type="radio"/> 【選択】 アラーム音を、本体メモリから選択します。

㉔ 連続アラーム お買い上げ時： 「OFF」	▶ ㉑ 「ON」または ㉒ 「OFF」 5分ごとに5回アラームを鳴らします。
㉕ アラーム鳴動時間 お買い上げ時： 「1分」	▶ ㉑ ～ ㉕ （時間を選択） アラームを鳴らす長さを選択します。「1分」～「5分」まで、分単位で設定します。
㉖ アラームメッセージ	▶ メッセージを入力し、 <input checked="" type="radio"/> 【登録】 アラーム動作時、メインディスプレイに表示するメッセージを入力します（全角、半角共に32文字まで）。
㉗ アラーム画像 お買い上げ時： 「表示なし」	アラーム動作時に表示する画像を選択します。
㉑ 固定画像	▶ ㉑ ～ ㉒ （固定画像を選択） アラーム画像を、あらかじめ用意されている2種類の画像から選択します。
㉒ データフォルダ	▶ 「画像フォルダ」または「フォトフォルダ」を選択 ▶ 画像を選択し、 <input checked="" type="radio"/> 【選択】 アラーム画像を、本体メモリから選択します。
㉓ 表示なし	アラーム起動中に画像を表示しません。

2 **【登録】**を押す



- アラーム音やアラーム画像を選択した後、**㉑**【再生】を押すと、選択した音や画像を再生することができます。アラーム画像再生中は、以下の操作を行うことができます。
 - ・**㉑**【戻る】：再生を終了します。
 - ・ **【全画面表示】**：全画面表示します。
 アラーム音再生中は、以下の操作を行うことができます。
 - ・**㉑**【停止】：再生を終了します。
 - ・**㉑**【戻る】：再生を終了します。
- アラームを設定すると、待受画面に「」が表示されます。また、アラーム一覧画面では**㉑**「アラーム ON/OFF」が**㉑**「ON」に設定されているアラームに「」が表示されます。
- アラーム機能の登録/編集は、以下の手順でも行えます。
 待受画面で ▶ **「アクセサリ」**を選択し、 ▶ **㉒**「アラーム」▶登録/編集したいアラーム番号を選択し、 **【選択】**
- 以下の動作を行っている場合は、アラーム指定時刻になってもアラームは鳴りません。この場合、各動作終了後に鳴ります（機能リセット/オールリセット、WX310K起動中/終了中を除く）。
 - ・WX310K起動中/終了中
 - ・アラーム/スケジュールアラーム/TODOアラーム鳴動中
 - ・通話中/発信中/着信中/データ通信中
 - ・伝言メモ応答録音中/再生中
 - ・機能/メモリ/オールリセット中
 - ・ムービー録画中
 - ・メール送信中/受信中
 - ・USBマスタストレージ起動中
 - ・カメラのセルフタイマー起動中
 - ・位置情報通知中
 - ・WX310Kの電源OFF時
 - ・京セラPHSユーティリティソフトウェア起動中
- アラーム音量やバイブレータの設定は、「アラームの音量/バイブレータを設定する」（138ページ）をご参照ください。

アラーム設定を削除する

アラーム一覧画面で 削除したいアラーム設定を選択 ▶ 【メニュー】 ▶ 【削除】

以下の項目から選択します。

1件	選択したアラーム設定を削除します（「各機能の情報を削除する」185ページ）。
2件	登録されているアラーム設定をすべて削除します（「各機能の情報を削除する」185ページ）。

アラームを止める

アラームが鳴っているときに いずれかのキーを押す

ご注意

- アラーム動作中に着信／メール受信があると、アラーム動作を停止します。
- 連続アラームの場合は、連続アラームの解除方法が表示されます。この間、アラーム音は鳴り続けます。 【解除】を長く押しすと、連続アラームは解除されます。

お知らせ

- 連続アラームが設定されている場合は、アラーム動作中に待受画面の が点滅します。
- 連続アラームを解除するには、以下の手順でも行えます。
連続アラームが鳴っているときにいずれかのキーを押す ▶ 【解除】 ▶ ▶

メモ帳を登録する

WX310Kをメモ帳代わりに使用することができます。メモ帳は20件まで登録できます。

メモ帳を登録する

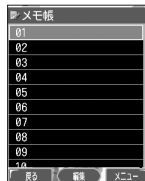
待受画面で ▶ 【メモ】を選択し、 ▶ 【メモ帳】 ▶

メモ帳一覧画面

登録するメモ帳を選択し、 【編集】 ▶ メモを入力し、 【登録】

お知らせ

- 入力できる文字数は1件あたり全角、半角共に512文字までです。
- メモ帳入力画面のメニューについては、「文字入力メニューを使う」（56ページ）をご参照ください。
- メモ入力中に着信などによって登録が中断された場合は、中断されるまでの入力内容が登録されます。
- メモ入力中に を押しすと、作成中データの破棄の確認画面が表示されます。 【はい】を押すと、作成中データは保存されずに待受画面に戻ります。
- メモ帳はテキストデータとしてエクスポートできません。



メモ帳のメニューを使う

メモ帳一覧画面で 【メニュー】を押す

以下の項目から選択します。

編集	▶ メモを編集し、 <input type="checkbox"/> 【登録】
コピー	▶ コピー先を選択し、 <input type="checkbox"/> 【OK】 メモの内容をコピーし、別のメモ帳No.に登録します。
マイオリジナルへ登録	「メモ帳」をマイオリジナルに登録します（「マイオリジナルを使う」46ページ）。
削除	▶ 「1件」、 「選択」、または 「全件」 メモ帳を削除します（「各機能の情報を削除する」185ページ）。

お知らせ

- コピー先に、すでに登録されているメモ帳の場合は、「メモ帳△△は登録済みです」と表示されます。すでにあるメモを置き換えて登録するには、「メモ帳△△を書き換えますか？」の画面で 「はい」を押します。

詳細を表示する

メモ帳一覧画面で 表示させたいメモ帳を選択し、 【表示】

お知らせ

- メモ詳細画面で 【メニュー】を押したときに表示される 「編集」、 「コピー」、 「マイオリジナルへ登録」、および 「削除」は、メモ詳細画面から、「メモ帳のメニューを使う」（同ページ参照）と同様の操作を行います。

メモ詳細画面



● ダイヤルメモを使う（ダイヤルメモ）

電話番号などを書き留めておきたい場合に、WX310Kをメモ帳代わりに使うことができます。

ダイヤルメモを登録する

待受画面／ダイヤル編集画面／通話中に 番号を入力し、 【ダイヤルメモ】

お知らせ

- 入力できる電話番号は32桁までです。
- ダイヤルメモは3件まで登録できます。すでに3件登録されている場合、古いダイヤルメモから自動的に削除されます。

ダイヤルメモを呼び出して使う

待受画面で ▶ 「メモ」を選択し、 ▶ ▶ ▶ で利用したいダイヤルメモを

選択 ▶ 【メニュー】

以下の項目から選択します。

発信	▶ 【発信】を押す 選択したダイヤルメモの電話番号に電話をかけます。また、電話番号を編集して電話をかけることもできます。	
アドレス帳へ登録	新規	選択したダイヤルメモの電話番号をアドレス帳に登録します（「アドレス帳に登録する」60ページ）。
	追加	▶ アドレス帳を選択し、 【選択】 ▶ 登録先を「電話番号1～3」から選択し、 【登録】 または 【登録】 ▶ 【はい】すでに登録されているアドレス帳データに、電話番号を追加登録します。
ライトメール作成	選択したダイヤルメモの電話番号を宛先としたライトメールを作成します（「ライトメールを作成して送信する」78ページ）。	
削除	▶ 「1件」または 「全件」ダイヤルメモを削除します（「各機能の情報を削除する」185ページ）。	

お知らせ

- ダイヤルメモは、以下の入力操作時に呼び出して利用することができます。
 - ・ ライトメール作成の宛先入力（「ライトメールを作成して送信する」78ページ）
 - ・ 着信拒否する電話番号の入力（「着信拒否する電話番号を設定する」158ページ）
 - ・ 発信を許可する電話番号の入力（「登録した電話番号以外に電話をかけられなくする」161ページ）

待受中に音声を録音する（Myボイスメモ登録）

待受中にマイクから音声を録音します。最大約10秒間、3件まで録音できます。

待受画面で （シャッター/メモ） ▶ 【Myボイスメモ録音】

Myボイスメモ
一覧画面

▶ 【開始】 ▶ 録音開始 ▶ 約10秒経過または 【停止】で録音終了

お知らせ

- 録音終了後、 【再生】を押すと、録音した音声データを再生することができます。
 【停止】を押すと再生を終了します。
- 録音したMyボイスメモのデータ名は、以下の形式で保存されます。
例：2005年9月30日12時34分56秒に録音して保存した場合
「20050930_123456」
- 3件以上録音しようとする、エラーメッセージが表示されます。不要なデータを削除し、空き容量を確保してください。
- Myボイスメモを再生するには、以下の操作を行います。

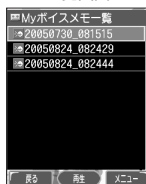
待受画面で （シャッター/メモ） ▶ 【Myボイスメモ再生】 ▶ 再生したいMyボイスメモを選択し、 【再生】

- 通話中にMyボイスメモを再生すると、Myボイスメモの内容は相手と自分の両方に聞こえます。
- Myボイスメモ一覧画面で以下の操作を行うと、メニュー画面が表示されます。

Myボイスメモ一覧画面で 【メニュー】

以下の項目から選択します。

マイオリジナルへ登録	Myボイスメモ一覧をマイオリジナルへ登録します（「マイオリジナルを使う」46ページ）。
削除	▶ 「1件」または 「全件」Myボイスメモを削除します（「各機能の情報を削除する」185ページ）。



- Myボイスメモの録音または再生は以下の手順で行えます。

待受画面で **[メニュー]** ▶ **「メモ」** を選択し、 **[Myボイスメモ]**
以下の項目から選択します。

[1] 録音	▶ [開始] ▶ 録音開始 ▶ 約10秒経過または [停止] で録音終了 Myボイスメモを録音します。
[2] 再生	▶ 再生したいMyボイスメモを選択し、 [再生] Myボイスメモを再生します。

● パケット通信中の電話の着信を設定する (通信中着信)

機能番号17

パケット通信中 (インターネット/データ通信/Eメール) に電話がかかってきたとき、着信を許可するか禁止するかを設定します。

お買い上げ時：
「起動」

待受画面で **[1]** ▶ **[2]** ▶ **[7]**

以下の項目から選択します。

[1] 起動	パケット通信中 (インターネット/データ通信/Eメール) でも、電話の着信ができます。
[2] 停止	パケット通信中 (インターネット/データ通信/Eメール) は、電話の着信ができません。

● ご注意

- 「通信中着信」が可能なのは、パケット通信中のみです。ただし、通信環境によっては着信できないことがあります。その場合、相手には圏外アナウンスが流れます。

● 通信中のメール受信を設定する (通信中メール受信)

機能番号18

パケット通信中 (インターネット/データ通信) にEメール/ライトメールの受信を許可するかどうかを設定します。

お買い上げ時：
「起動」

待受画面で **[1]** ▶ **[2]** ▶ **[8]**

以下の項目から選択します。

[1] 起動	パケット通信中 (インターネット/データ通信) でも、Eメール/ライトメールの受信ができます。
[2] 停止	パケット通信中 (インターネット/データ通信) は、Eメール/ライトメールの受信ができません。

● ご注意

- 「通信中メール受信」が可能なのは、パケット通信中のみです。ただし、通信環境によっては受信できない場合があります。

● プロフィールを登録／確認する（プロフィール）

機能番号0













プロフィールの詳細を登録する

自分のプロフィールを登録します。

待受画面で

1    **[表示]**  **[メニュー]**  **[編集]**

以下の項目から選択します。

項目	詳細
 (名前)	自分の名前を入力します（全角、半角共に24文字まで）。
 (ヨミ)	自分の読みを入力します（半角カナ英数字、記号で24文字まで）。
 (電話番号)	電話番号を入力します（32桁まで）。
(電話番号種別)	電話番号種別を選択します。
 (Eメールアドレス)	Eメールアドレスを入力します（半角64文字まで）。
(Eメールアドレス種別)	Eメールアドレス種別を選択します。
 (住所)	住所を入力します（全角、半角共に40文字まで）。
(住所種別)	住所の種別を選択します。
 (URL)	URLを入力します（半角英数字、記号で255文字まで）。
 血液型	血液型を選択します。
 誕生日	誕生日を入力します。
 星座	星座を選択します。13星座から選択することもできます。
 (趣味)	趣味を入力します（全角、半角共に10文字まで）。
 (メモ)	メモを入力します（全角、半角共に80文字まで）。
 画像	本体メモリの画像データをリンクします。

・各項目の入力方法は、「アドレス帳に登録する」(60ページ) をご参照ください。

2 各項目を入力し、 **[登録]** または  **[登録]** お知らせ

- 「電話番号1」には、自分の電話番号がすでに登録されています。変更することはできません。
- 「メールアドレス3」は、オンラインサインアップで取得した自分のEメールアドレスが自動的に登録されます。変更することはできません。

登録したプロフィールの詳細を確認する

待受画面で ▶ ▶ **【表示】**

プロフィール詳細
表示画面



ご注意

- 「メールアドレス3」は、オンラインサインアップ（28ページ、70ページ）を行っていない場合、表示されません。

お知らせ

- 登録していない項目は、表示されません。
- プロフィール詳細表示画面で、以下の項目を選択すると、各操作を行うことができます。

項目	操作内容
電話番号2	▶ 【発信】 を押す
電話番号3	選択した電話番号に電話をかけます。
メールアドレス1	▶ 【Eメール作成】 を押す
メールアドレス2	選択したEメールアドレスを宛先としたEメールを作成します（「Eメールを作成して送信する」74ページ）。
メールアドレス3	
URL	▶ 【接続】 を押す Webページにアクセスします（「インターネットの使いかた」94ページ）。
（画像）	▶ 【再生】 を押す 選択している画像データを表示します。

プロフィール詳細表示画面のメニューを使う

プロフィール詳細表示画面で **【メニュー】**を押す

以下の項目から選択します。表示される項目は、選択している項目により異なります。

項目	操作内容
発信*1	▶ 【発信】 を押す 選択した電話番号に電話をかけます。また、電話番号を編集して電話をかけることもできます。
ライトメール作成*1	選択した電話番号を宛先としたライトメールを作成します（「ライトメールを作成して送信する」78ページ）。
Eメール作成*2	選択したEメールアドレスを宛先としたEメールを新規作成します（「Eメールを作成して送信する」74ページ）。
URL接続*3	Operaブラウザを起動し、選択したURLに接続します。
Eメールへ添付	プロフィールを添付データとしたEメールを作成します。 添付されたプロフィールデータのタイトル名はプロフィールの「名前」、データ名は「名前.vcf」となります。なお、プロフィールデータは、データフォルダに保存されません。プロフィールの名前にファイル名として使用できない文字<> ; ¥ " / ? * . ; が含まれているときは、タイトル名に「notitle.vcf」と表示されます。
編集	プロフィールの情報を編集します。
リセット	▶ 【はい】 を押す 追加したプロフィール情報（電話番号1とメールアドレス3以外）をリセットします。

*1：電話番号（電話番号1以外）を選択しているときのみ表示されます。

*2：Eメールアドレスを選択しているときのみ表示されます。

*3：URLを選択しているときのみ表示されます。

お知らせ

- ご使用のWX310Kが国際ローミングに対応している場合、電話番号1には、ローミングモードが「日本/ウィルコム」のときは自電話番号が、それ以外のときはローミング用番号が表示されます。

● 通話時間を表示する

通話時間についての機能や表示の設定を行います。

通話時間の合計を表示する（累積通話時間） 機能番号 11

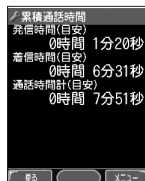
今までにかけた電話と、かかってきた電話の通話時間合計の目安を表示します。

待受画面で ▶ ▶

以下の項目が表示されます。

発信時間（目安）	今までにかけた電話の通話時間合計の目安です。
着信時間（目安）	今までにかかってきた電話の通話時間合計の目安です。
通話時間計（目安）	かけた電話とかかってきた電話の通話時間合計の目安です。

累積通話時間
表示画面



● ご注意

- この時間表示は目安です。

お知らせ

- 累積通話時間は999時間59分59秒まで表示されます。これを超えた場合、累積通話時間の表示は999時間59分59秒で停止します。
- 累積通話時間のリセットは、以下の手順で行います。
累積通話時間表示画面で 【メニュー】 ▶ 「通話時間リセット」 ▶ 暗証番号を入力

通話中に通話時間を表示させる（通話時間目安表示） 機能番号 12

通話時間目安表示を「ON」に設定すると、通話中に通話経過時間の目安をメインディスプレイに表示し、通話終了後にはその時間の目安を表示します。

お買い上げ時：
「ON」

待受画面で ▶ ▶ ▶ 「ON」または 「OFF」

● ご注意

- この時間表示は目安です。

● エニーキーアンサーを設定／解除する（エニーキーアンサー） 機能番号 14

エニーキーアンサーを「ON」に設定すると、電話がかかってきたとき、、、、、、、のいずれかのキーを押して電話を受けることができます。

お買い上げ時：
「OFF」

「OFF」に設定すると、のみで電話を受けられます。

待受画面で ▶ ▶ ▶ 「ON」または 「OFF」

● WX310Kをオープンしたときの動作を設定する（着信時フォルダオープン） 機能番号16

電話の着信時にWX310Kをオープンすると、電話を受けたり、着信音を消したり、WX310Kを振動させたりするなどの設定を行います。


お買い上げ時：
「状態継続」

待受画面で ▶ **11** ▶ **16**

以下の項目から選択します。

11 状態継続	WX310Kをオープンしても状態は変わりません。
12 着信応答	着信中の電話を受けます。
13 サイレント	着信音が消音になります。バイブレータが設定されているときは、バイブレータも止まります。
14 サイレント+バイブ	着信音が消音になり、WX310Kが振動します。



● 上下キーに機能を設定する（上下キー割り当て） 機能番号95

待受中にフロントジョグ  で行うことのできる操作を設定します。

お買い上げ時：
「送受信メール一覧」

待受画面で ▶ **95** ▶ **95**

以下の項目から選択します。

機能名	フロントジョグ操作	
		
11 名前順	アドレス帳の「名前」検索	
12 アドレス帳No.順	アドレス帳の「アドレス帳No.」検索	
13 グループ順	アドレス帳の「グループ」検索	
14 送受信メール一覧	受信メール一覧	送信メール一覧
15 音声着信音量	音声着信音量を大きく	音声着信音量を小さく

● ご注意

- ここで設定したフロントジョグ操作は、待受中のみ行うことができます。待受中以外の状態では、通話中は受話音量調節、着信中は着信音量調節などの操作になります。

● センターキーの長押しに機能を設定する（センターキー長押し割り当て） 機能番号96

待受中にセンターキー長押しで行うことのできる機能を設定します。

お買い上げ時：
「Eメール受信」

待受画面で ▶ **96** ▶ **96**

以下の項目から選択します。

11 Eメール受信	Eメールの受信を割り当てます。
12 カメラ起動	カメラの起動を割り当てます。
13 電卓	電卓の起動を割り当てます。
14 ブックマーク	ブックマーク一覧の起動を割り当てます。
15 ダイヤルロック	ダイヤルロックの設定を割り当てます。

● ご注意

- ここで設定したセンターキー長押し操作は、待受中のみ行うことができます。

● 電卓を使う（電卓）

電卓として使用します。電卓はメインディスプレイ中央の操作ガイドを見ながら操作することができます。

待受画面で

1 ▶ 「アクセサリ」を選択し、 ▶ 「電卓」

2 **ダイヤルキー**と以下のキーを使用して計算する

	小数点を入力します。		%（パーセント表示）
	+（たす）		M+（メモリに加算）
	-（ひく）		MR（メモリの値を表示）
	×（かける）		C（表示している数字のクリア）
	÷（わる）		
	=（計算結果表示）		

お知らせ

- 電卓機能の表示可能な桁数は10桁までです。
- 計算の結果にエラーが出た場合は「E」が表示されます。このときを押すとエラーが解除されます。

● パソコンとデータのやり取りをする（マストレージ）

WX310KとパソコンをUSBケーブルでつなぐだけで、パソコンからminiSDカードにあるデータを閲覧したり、コピーできます。

待受画面で

1 **パソコンの電源を入れる**

2 **WX310Kを待受画面にし、WX310KとパソコンをUSBケーブルで接続する**

3 **WX310Kで 「はい」を押す**

ご注意

- マストレージ接続時は、WX310K本体の機能は利用できません。
- マストレージ機能を利用する場合は、WX310KにminiSDカードを挿入してください（「miniSDカードの取り付け／取りはずし」9ページ）。

お知らせ

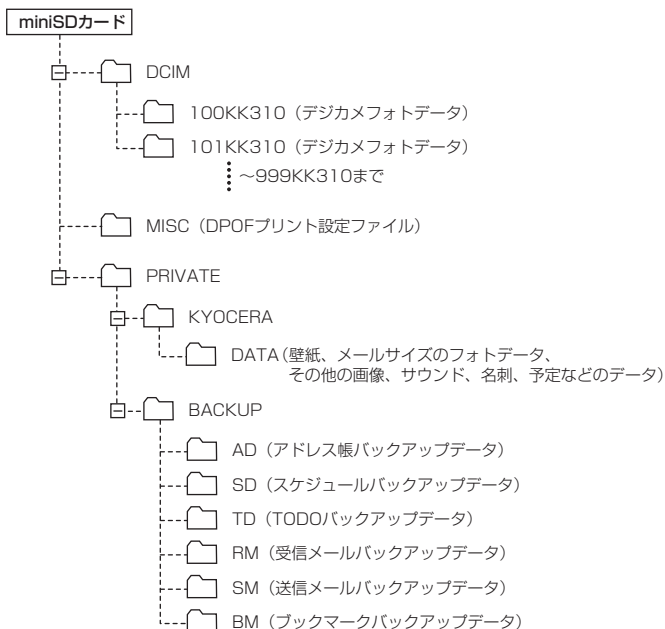
- マストレージ接続の終了は、以下の操作で行います。
マストレージ接続中に、パソコンから**USB切断**の操作をする
- 手順3で「いいえ」を選択した後、再度マストレージを利用したい場合は、以下の手順で行います。

待受画面で ▶ 「アクセサリ」を選択し、 ▶ 「USBマストレージ」 ▶ 「はい」

● マストレージの対応OSは、Windows XP、Windows 2000、Windows ME、Mac OS Xです。

マストレージ接続時に表示されるフォルダとデータの種類

WX310Kのデータは、パソコン上で以下のように表示されます。



● パソコンとデータのやり取りをする (マストレージ)
● 平型イヤホンマイクを接続する (イヤホン自動応答)

● 平型イヤホンマイクを接続する (イヤホン自動応答)

機能番号19

「イヤホン自動応答」を「ON」に設定すると、平型イヤホンマイク (市販品) を接続しているときに、手で操作しなくても「イヤホン自動応答秒数」(180ページ) で設定した時間が経過すると、自動的に電話を受け取ることができます。

お買い上げ時：
「ON」

待受画面で ▶ ▶ ▶ 「ON」 または ▶ 「OFF」

ご注意

- 伝言メモ (47ページ) が同時に設定されているときは、設定時間の短いほうが優先されます。
- 平型イヤホンマイクのスイッチでも着信応答ができます。
- 平型イヤホンマイクは平型プラグのものが使用できます。

お知らせ

- 平型イヤホンマイクで通話を終了する場合は 、または平型イヤホンマイクのスイッチを押してください。
- 平型イヤホンマイクの使いかたについては、平型イヤホンマイク (市販品) の取扱説明書をご参照ください。

● 平型イヤホンマイクの応答時間を設定する（イヤホン自動応答秒数）

機能番号10

「イヤホン自動応答」（179ページ）を「ON」に設定しているとき、自動的に電話を受け取るまでの時間（応答時間）を「00秒」～「30秒」に設定できます。

お買い上げ時：
「09秒」

待受画面で で応答時間を選択し、 [選択]

お知らせ

● ダイヤルキーを利用して応答時間を入力することもできます。

● 現在の位置情報を通知する

一つの基地局のカバーするエリアが半径100～500mという利点を生かし、発信／着信の際に把握する近隣の基地局からの情報を利用した位置情報サービスが情報提供会社から提供されています。

- ・ LI (Location Information / 位置情報通知) 機能：WX310Kが認識する複数の基地局とその電界強度を通知する機能です。この機能によって、自分がいる位置またはその周辺の情報などを知ることができます。
- ・ 自動位置情報送出：「LI設定」を「ON」に設定すると、自動位置情報送出を設定することができます。WX310Kに通知許可番号として登録している電話番号から遠隔操作で現在位置の送出を要求された場合、自動的に位置情報を通知します。

LI機能を設定する（LI設定）

機能番号91

「LI設定」を「ON」に設定すると、「自動位置情報送出」を設定することができます。位置情報サービスを利用することができます（ウィルコムへの加入、位置情報サービス提供会社などへのお申し込みが必要）。位置情報サービスを利用すると、遠隔操作により、移動する人や物などの位置を、パソコンなどのディスプレイ上にリアルタイムで表示します。迷子防止や物品の管理のためなどに設定することができます。

お買い上げ時：
「OFF」

自動位置情報送出では、以下の3つの機能を設定することができます。

- ・ 自動位置情報送出
- ・ 位置情報を通知する電話番号（通知許可番号）の登録／修正／消去
- ・ 位置情報送出時の送出確認音の設定

待受画面で

1 [ON]

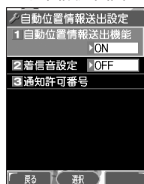
現在の自動位置情報送出の設定状況が表示されます。

2 [設定] 暗証番号を入力

以下の項目から選択します。

<p> 1 自動位置情報送出機能</p> <p>お買い上げ時： 「OFF」</p>	<p>▶ [ON] を押す</p> <p>通知許可番号として登録されている電話番号から位置情報送出が要求されたとき、位置情報を自動的に送るかどうかの設定をします。あらかじめ、通知許可番号を登録しておく必要があります。</p>
<p> 2 着信音設定</p> <p>お買い上げ時： 「OFF」</p>	<p>▶ [ON] を押す</p> <p>自動位置情報送出で位置情報を送ったときに、送信確認音を鳴らすかどうかの設定をします。</p>
<p> 3 通知許可番号</p>	<p>位置情報送出が要求されたときに、位置情報を自動的に送る電話番号の登録をします（「通知許可番号と通知許可パスワードを登録する」181ページ）。</p>

自動位置情報
送出設定画面



● ご注意

- 自動位置情報送受信機能を利用するときは、「LI設定」を「ON」に設定し（「LI機能を設定する」180ページ）、有効な通知許可番号が登録されている必要があります（「通知許可番号と通知許可パスワードを登録する」同ページ参照）。

● お知らせ

- 「1」 「自動位置情報送受信機能」で位置情報を送る相手の電話番号は、「3」 「通知許可番号」で設定します（「通知許可番号と通知許可パスワードを登録する」同ページ参照）。
- 「1」 「自動位置情報送受信機能」を設定すると、メインディスプレイに「LI」が表示されます。「LI設定」が「OFF」に設定されているときは、「LI」は表示されません。

■ 通知許可番号と通知許可パスワードを登録する 機能番号913

自動位置情報を送る電話番号を、「通知許可番号」として登録します。電話番号は5件まで登録することができ、それぞれに通知許可パスワードを設定します。通知許可パスワードについては、位置情報サービス提供会社へお問い合わせください。

お買い上げ時：
通知許可番号：「未登録」
通知許可パスワード：
「未登録」

自動位置情報送受信設定画面で

1 「3」 「通知許可番号」 ▶ 登録する番号を選択 ▶ 「メニュー」 ▶ 「1」 「登録」

2 「1」 「通知許可番号」を入力し、□ ▶ 「2」 「通知許可パスワード」を入力し、● 「登録」

● お知らせ

- 入力できる通知許可番号は20桁までです。
- 入力できる通知許可パスワードは1桁から8桁までです。

■ 通知許可番号と通知許可パスワードを編集／削除する

登録した通知許可番号と通知許可パスワードを編集／削除します。

自動位置情報送受信設定画面で 「3」 「通知許可番号」 ▶ 編集または削除する番号を選択 ▶ 「メニュー」

以下の項目から選択します。

「1」編集	▶ 「1」 「通知許可番号」を編集し、□ ▶ 「2」 「通知許可パスワード」を編集し、● 「登録」 登録済みの通知許可番号と通知許可パスワードを編集します。
「2」削除	▶ 「1」 「1件」または「2」 「全件」 通知許可番号と通知許可パスワードを削除します（「各機能の情報を削除する」185ページ）。

位置情報を通知する

「LI設定」を「ON」に設定すると、必要なときに任意の電話番号（位置表示用ディスプレイなどの周辺機器）に位置情報を通知することができます。

待受画面で を長く（1秒以上）押し、発信画面に「♥」を表示させる ▶ 電話番号を入力する ▶

● お知らせ

- 電話番号は、発信履歴（41ページ）、着信履歴（41ページ）、アドレス帳（60ページ）からも呼び出すことができます。
- 位置情報を通知または送受信するときは、分計発信（200ページ）を使用できます。

相手から位置情報送出手の要求があったとき

「L1設定」および「自動位置情報送出手機能」を「ON」に設定すると、あらかじめ登録している「通知許可番号」から位置情報送出手の要求があったとき、自動的に位置情報を送ります。詳しくは、位置情報サービス提供会社へお問い合わせください。



- WX310Kの操作中に位置情報送出手の要求があったとき、操作は中断されます。位置情報の送出手が終了すると、待受画面に戻ります。

所在位置を登録する

「L1設定」および「自動位置情報送出手機能」を「ON」に設定すると、WX310Kの所在位置を登録することができます。位置情報送出手の要求があったときは、登録した情報が送られます。また、位置情報と一緒に、そのときの状態を「ステータスコード」を使って登録することもできます。詳しくは、位置情報サービス提供会社へお問い合わせください。

■ 所在位置のみ登録する

待受画面で

1 を長く (1秒以上) 押す

位置情報送信画面が表示されます。

2 を押す

位置情報動作中画面が表示されます。送信が終了すると、送信終了画面に切り替わり、待受画面に戻ります。

■ 所在位置とステータスコードを登録する

待受画面で ▶ ステータスコードを入力する ▶



- ステータスコードを登録する際は、184発信、186発信、分計発信は使用できません。



- ステータスコードは「1」～「20」の範囲で入力してください。ステータスコードの詳細については位置情報サービス提供会社へお問い合わせください。
- 位置情報サービスについては下記までお問い合わせください。
ロケーション株式会社
電話 0120-180313 (フリーダイヤル)
受付時間 9:00～17:00 (土日祝日、ロケーション株式会社の休日を除く)
URL <http://www.tli-net.jp/>

● 国際ローミングを利用する（お申し込み必要）（国際ローミング） 機能番号94

ウィルコムに、別途国際ローミング契約をお申し込みになると、WX310Kが台湾とタイでも使えるようになります。

台湾とタイでご使用になる場合には、WX310Kをローミングモードに切り替える必要があります。詳細については、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。




ローミングモードに切り替える（国・地域／事業者選択） 機能番号941

ローミングモードで使用するには、ローミングモードへ切り替える必要があります。


お買い上げ時：
「日本／ウィルコム」

待受画面で  ▶  ▶  ▶ 




以下の項目から選択します。

 1日本／ウィルコム
 2台湾／大衆電信FITEL
 3タイ／true


● ご注意

- 台湾またはタイでのご使用後、日本に帰国した際は、必ずローミングモードを「日本／ウィルコム」に切り替えてください。

● お知らせ

- ローミングモードを「台湾／大衆電信FITEL」または「タイ／true」に切り替えると、メインディスプレイに「」が表示されます。
- ローミングモードでは、以下の機能はご利用になれません。
 - ・安全運転モードのネットワーク応答、ネットワーク応答+音声メモの切り替え
 - ・発信者番号付加機能（184、186）
 - ・分計発信
 - ・ライトメール
 - ・Eメール自動受信
 - ・L設定
 - ・通信中着信
- ローミングモード時は、時差情報によりWX310Kの時刻は現地時間に合わせて自動的に調整されます。

ローミングモードで電話をかける

ローミングモードで電話をかけるには、直接相手の電話番号を入力し、を押します。ローミング国・地域から日本など他の国や地域に電話をかけるときには、国際プリフィックス番号の入力が必要となります。

ローミングモードで電話を受ける

ローミングモードで電話を受けるには、ローミング電話番号、ウィルコムの電話番号のどちらでも電話を受けることができます。ただし、ウィルコムの電話番号で電話を受けるには、ウィルコムへのお申し込みが必要となります。

国際プリフィックス番号を簡単に付ける

ローミングモードのご利用時に、日本など他の国や地域に電話をかけるときには、相手の国番号の前に「国際プリフィックス番号」を付ける必要があります。WX310Kでは、簡単な操作で国際プリフィックス番号を入力することができます。

例：日本の「070-1234-x x x x」という番号に電話をかける場合

待受画面で

1

選択した国や割り当てられた国際プリフィックス番号が表示されます。

2

日本の国番号を入力します。

3

相手の電話番号から、先頭の「0」を除いた番号（ここでは「701234 x x x x」）を入力します。

4 を押す



● 発信履歴、着信履歴、ダイヤルメモ、またはアドレス帳に登録されている電話番号に国際プリフィックス番号を付加して電話をかけるには、以下の手順を行います。

■ 発信履歴／着信履歴の電話番号に付加する場合

待受画面で （発信履歴）または （着信履歴）▶ 【メニュー】▶ 「発信」▶ で表示されている電話番号の頭にカーソルを合わせる▶ ▶ ▶

■ アドレス帳に登録されている電話番号に付加する場合

待受画面で 【アドレス帳】▶ アドレス帳を選択し、【詳細表示】▶ 電話番号を選択▶ 【メニュー】▶ 「発信」▶ で表示されている電話番号の頭にカーソルを合わせる▶ ▶ ▶

ローミング情報を登録する（ローミング情報登録）

機能番号942

ローミング情報の登録は、手入力による登録と、ローミングメール登録の2通りがあります。ここでは、手入力による登録方法を説明します。

待受画面で

1 ▶ ▶ ▶

■ 台湾の場合

2 「台湾/大衆電信FTEL」▶ 「ローミング電話番号」▶ ローミング電話番号を入力し、【登録】

■ タイの場合

2 「タイ/true」を押す

以下の項目から選択し、必要な項目を登録／編集します。

登録日時	ローミング情報が登録された日時を表示します。
ローミング先PS-ID	▶ ローミング先PS-IDを入力する
PS番号	▶ PS番号を入力する
ローミング電話番号	▶ ローミング電話番号を入力する 入力できる桁数は32桁までです。
暗証番号	▶ 暗証番号を入力する 入力できる桁数は2桁までです。

3 【登録】を押す



- ローミングメール登録とは、お客様がウィルコムサービスセンターで国際ローミングのお申し込みをされた後、約1時間程でライトメールにて通知され、自動的にWX310Kに登録される方法です。
- ローミング情報をリセットした場合は、以下の手順で登録し直します。

■タイの場合

- ローミングメールで通知された内容をコピー ▶ 待受画面で ▶ ▶ ▶ 「タイ/true」 ▶ 「はい」を選択し、 【選択】 ▶ ローミング情報 (SO情報) が入力されていることを確認し、 【登録】
- ローミング電話番号を登録すると、登録した電話番号をプロフィール (「プロフィールを登録/確認する」174ページ) で確認することができます。

ローミング情報を削除する

選択した国のローミング情報をすべて削除します。

待受画面で ▶ ▶ ▶ ▶ 「削除」 ▶ 「はい」

各機能の情報を削除する

発信履歴やアドレス帳など、各機能の情報を削除するには、 【メニュー】でメニューを表示させて、「削除」を選択します。機能によって、「削除」を選択した後、「1件」「全件」などの削除方法を選択します。

削除方法	内容
1件/ 1件削除	▶ 「はい」を押す 選択している、または表示している内容を削除します。
選択	▶ 削除する内容を選択し、 【選択】を繰り返す ▶ 【削除】 ▶ 「はい」 削除したい内容を複数選択し、削除します。選択を解除するには、選択したデータを選択し、 【解除】を押します。
全件/ 全削除	▶ 暗証番号を入力 ▶ 「はい」 すべての内容を削除します。
グループ	アドレス帳のグループ選択画面での削除で表示されます。 ▶ 「はい」を押す 選択したグループを削除します。
チェック済み	TODOリストの削除で表示されます。 ▶ 暗証番号を入力 ▶ 「はい」 チェックが付いているTODOをすべて削除します。
指定日以前	スケジュールの削除で表示されます。 ▶ 暗証番号を入力 ▶ 【選択】 ▶ 指定日を入力し、 【選択】 ▶ 「はい」 指定日以前のスケジュールをすべて削除します。
フォルダ/ フォルダ内	データフォルダ、ブックマークの削除で表示されます。 ▶ 暗証番号を入力 ▶ 「はい」 フォルダ内のデータをすべて削除します。

Bluetooth™の使いかた

WX310Kでは、Bluetooth™対応機器を利用して以下のことができます。

- ・ヘッドセット接続 : ヘッドセットで通話ができます。
 - ・ハンズフリー接続 : ハンズフリー機器で通話ができます。
 - ・ダイヤルアップ接続 : Bluetooth™対応のパソコンなどでインターネットに接続できます。
- また、各接続方法には、接続方法ごとに決められた接続のルール（プロファイル）があり、WX310Kで以下のように表示されます。

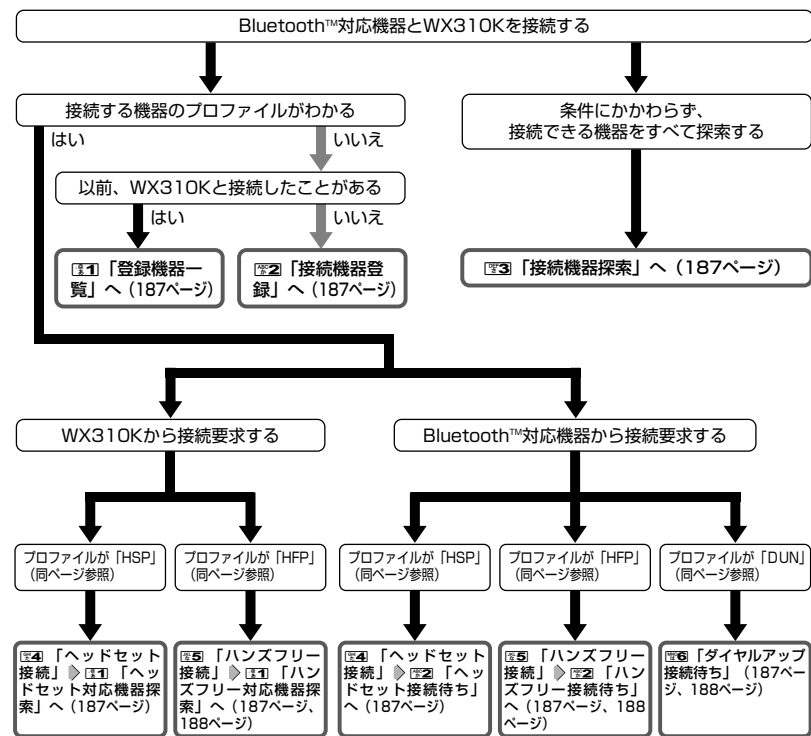
HSP	ヘッドセットとして接続するためのプロファイルです。
HFP	ハンズフリー機器として接続するためのプロファイルです。
DUN	ダイヤルアップ機器として接続するためのプロファイルです。

お知らせ

- Bluetooth™の標準規格はVer.1.2準拠です。
- Bluetooth™の起動には、約5秒程かかります。

Bluetooth™対応機器とWX310Kの接続方法について

Bluetooth™対応機器とWX310Kを接続するには、さまざまな接続方法があります。以下を参考にして、「Bluetooth™のメニューを使う」（187ページ）で操作内容をご参照ください。



ご注意

Bluetooth™のメニューを使う

待受画面で

● ▶ 「アクセサリ」を選択し、● ▶ **☑4** 「Bluetooth」

Bluetooth™のメニュー



以下の項目から選択します。

<p>☑1 登録機器一覧</p>	<p>▶ 登録機器の一覧から接続したい機器を選択し、● 【接続】</p> <p>一度接続して登録した機器が一覧表示されます。一覧から接続したい機器を選択し、接続します。登録できる件数は20件までです。</p>	<p>登録機器の一覧画面</p>
<p>☑2 接続機器登録</p>	<p>▶ 探索結果の一覧から接続したい機器を選択し、● 【接続】 ▶ パス キーを入力し、● 【確定】</p> <p>☑1 「登録機器一覧」に登録されていないBluetooth™対応機器を探索し、10件まで一覧表示します。一覧から接続したい機器を選択し、接続します。接続した機器は、☑1 「登録機器一覧」に登録されます。</p>	<p>探索結果の一覧画面</p>
<p>☑3 接続機器探索</p>	<p>▶ 探索結果の一覧から接続したい機器を選択し、● 【接続】 ▶ パス キーを入力し、● 【確定】</p> <p>WX310K周辺のBluetooth™対応機器をすべて探索し、10件まで一覧表示します。一覧から接続したい機器を選択し、接続します。</p>	
<p>☑4 ヘッドセット接続</p>	<p>☑1 ヘッドセット対応機器探索</p> <p>▶ 探索結果の一覧から接続したい機器を選択し、● 【接続】 ▶ パス キーを入力し、● 【確定】</p> <p>Bluetooth™ (HSP) に対応したヘッドセットを探索し、接続します。</p> <p>☑2 ヘッドセット接続待ち</p> <p>▶ 接続待ち状態時にヘッドセットから接続要求を行う ▶ パス キーを入力し、● 【確定】</p> <p>Bluetooth™ (HSP) に対応したヘッドセットからWX310Kに接続要求し、接続します。</p>	<p>接続待ち画面</p>

☑5 ハンズフリー接続	☑1 ハンズフリー対応機器探索	<p>▶ 探索結果の一覧から接続したい機器を選択し、<input checked="" type="radio"/>【接続】▶ パスキーを入力し、<input checked="" type="radio"/>【確定】</p> <p>Bluetooth™ (HFP) に対応したハンズフリー機器を探索し、接続します。</p>
	☑2 ハンズフリー接続待ち	<p>▶ 接続待ち状態時にハンズフリー機器から接続要求を行う▶ パスキーを入力し、<input checked="" type="radio"/>【確定】</p> <p>Bluetooth™ (HFP) に対応したハンズフリー機器からWX310Kに接続要求し、接続します。</p>
☑6 ダイヤルアップ接続待ち	<p>▶ 接続待ち状態時にダイヤルアップ機器から接続要求を行う▶ パスキーを入力し、<input checked="" type="radio"/>【確定】</p> <p>Bluetooth™ (DUN) に対応したダイヤルアップ接続機器からWX310Kに接続要求し、接続します。</p>	
☑7 設定	☑1 認証要求設定	▶ ☑1 「あり」または☑2 「なし」
	お買い上げ時： 「あり」	Bluetooth™に対応した機器と接続を行うときに、パスキーで認証を行うかどうかを設定します。☑2 「なし」に設定していても、接続相手から認証要求があった場合、認証を行います。
	☑2 探索時間	▶ ☑1 「2秒」、☑2 「5秒」、または☑3 「10秒」
	お買い上げ時： 「5秒」	Bluetooth™に対応した機器を探索するときの探索時間を設定します。
☑3 着信音鳴動	▶ 着信音鳴動	
お買い上げ時： 「自機のみ鳴動」	ヘッドセット/ハンズフリー機器を接続している場合、WX310Kが着信したとき、ヘッドセット/ハンズフリー機器で着信音を鳴らすかどうかの設定をします（「ヘッドセット/ハンズフリー機器接続時の着信音鳴動を設定する」189ページ）。	
☑4 自機情報	WX310Kの名称、種別、アドレス、対応サービス（プロファイル）が表示されます。表示中に☑【名称変更】を押すと、WX310Kの名称を編集できます（全角、半角共に12文字まで）。	

*：登録された機器がない場合は選択できません。

 お知らせ

- パスキーは約30秒以内に入力してください。約30秒を超えた場合、待受画面に戻ります。
- パスキーを入力して接続すると、☑1「登録機器一覧」に登録され、以後パスキーの入力は必要ありません（接続する機器によっては、毎回パスキー入力を要求するものもあります）。
- HFPとHSP両方のプロファイルを持つ機器の場合、接続する際にプロファイルの選択画面が表示されます。使用したいプロファイルを選択して【確定】を押すと、選択したプロファイルで接続します。
- 待受画面で☑3キーを長く（1秒以上）押すと、前回接続したプロファイルで接続待ち状態になります。
- ☑4「ヘッドセット接続」の☑2「ヘッドセット接続待ち」、☑5「ハンズフリー接続」の☑2「ハンズフリー接続待ち」で接続待ち状態を解除するには、以下の手順で行います。

接続待ち画面で☑3を長く（1秒以上）押す

または

Bluetooth™メニューで☑4「ヘッドセット接続停止」（または☑5「ハンズフリー接続停止」）▶ ☑1「はい」



- ☑6「ダイヤルアップ接続待ち」で接続待ち状態を解除するには、以下の操作を行います。

ダイヤルアップ接続待ち中に☑【中止】を押す




- 登録機器の一覧画面、探索結果の画面一覧には、以下の機器種別が表示されます。

表示	機器種別
	ヘッドセット機器
	ハンズフリー機器
	パソコン、PDA
	その他




- 探索結果の一覧画面には、以下の探索結果が表示されます。

表示	探索結果
	新しく見つかった機器
	登録機器一覧に登録済みで見つかった機器

- **☐4**「ヘッドセット接続」の**☐2**「ヘッドセット接続待ち」、**☐5**「ハンズフリー接続」の**☐2**「ハンズフリー接続待ち」、**☐6**「ダイヤルアップ接続待ち」で接続待ち状態のときは、メインディスプレイとサブディスプレイに以下のアイコンが表示されます。

接続待ちのプロファイル	アイコン
HSP	
HFP	
DUN	

- Bluetooth™通信中は、メインディスプレイとサブディスプレイに以下のアイコンが表示されます。

通信中のプロファイル	アイコン
HSP	
HFP	
DUN	

- **☐6**「ダイヤルアップ接続待ち」で接続待ち状態のときに着信があったときは、接続待ち状態を解除します。
- ダイヤルアップ接続をするには、あらかじめパソコンで接続に必要な設定をしておく必要があります。
- ダイヤルアップ接続機器から接続要求がなかった場合（パスキーを入力して認証を行っていない場合）は、約3分で待受画面に戻ります。

■ ヘッドセット／ハンズフリー機器接続時の着信音鳴動を設定する

ヘッドセット／ハンズフリー機器を接続している場合に、WX310Kに電話がかかってきたとき、ヘッドセット／ハンズフリー機器で着信音を鳴らすかどうかの設定をします。

お買い上げ時：
「自機のみ鳴動」

Bluetooth™のメニューで **☐7**「設定」▶**☐3**「着信音鳴動」

以下の項目から選択します。

☐1 自機のみ鳴動	着信時、WX310Kのみ着信音が鳴ります。
☐2 接続相手も鳴動	着信時、WX310Kと、ヘッドセット／ハンズフリー機器の両方で着信音が鳴ります。

お知らせ

- **☐2**「接続相手も鳴動」を設定した場合、WX310Kのマナーモード（49ページ）や音声着信の設定（136ページ）にかかわらず、ヘッドセット／ハンズフリー機器からWX310Kの設定と同じ着信音が鳴ります。

■ 機器一覧のメニューを使う

登録機器一覧のメニューから、機器の名称変更、詳細情報の表示、表示されている機器の削除ができます。

登録機器の一覧画面で **☐8**「メニュー」を押す

以下の項目から選択します。

☐1 名称変更	▶ 機器の名称を入力し、 ☐ 【確定】 表示された機器の名称を変更します（全角、半角共に40文字まで）。
☐2 詳細情報	選択した機器の名称、種別、アドレス、対応サービス（プロファイル）が表示されます。
☐3 削除	▶ ☐1 「1件」または ☐2 「全件」 一覧に表示されている機器を削除します（「各機能の情報を削除する」185ページ）。登録機器一覧から機器を削除した場合は、登録が削除されます。

ヘッドセット／ハンズフリー機器での通話について

ヘッドセット／ハンズフリー機器を接続すると、ヘッドセット／ハンズフリー機器の操作により、発信／着信ができます。詳しい操作方法については、ヘッドセット／ハンズフリー機器の取扱説明書をご参照いただくか、各メーカーへお問い合わせください。

■ 通話を開始する場合

接続したヘッドセット／ハンズフリー機器で通話操作をする

■ 通話を終了する場合

接続したヘッドセット／ハンズフリー機器、またはWX310Kで終話操作をする



- ヘッドセット／ハンズフリー機器と、WX310Kとで通話を切り替えるには、以下の手順で行います。
 - ヘッドセット／ハンズフリー機器からWX310Kに切り替える場合
ヘッドセット／ハンズフリー機器で通話中に、WX310Kの[]を長く（1秒以上）押す
 - WX310Kからヘッドセットに切り替える場合
WX310Kで通話中に、ヘッドセットを操作する
 - WX310Kからハンズフリー機器に切り替える場合
WX310Kで通話中に、ハンズフリー機器を操作する
または
WX310Kで通話中に、WX310Kの[]を長く（1秒以上）押す
- ヘッドセット／ハンズフリー機器を接続している場合、ヘッドセット／ハンズフリー機器を操作することで、前回電話をかけた相手に再度電話をかけることができます。
- Bluetooth™の待ち受けについて、ヘッドセット接続待ちやハンズフリー接続待ちの状態では、約6時間経っても接続相手から接続要求がない場合は、Bluetooth待ち受けを終了します。また、ダイヤルアップ接続待ちで、パソコンから発信動作が行なわれない場合は、約3時間でBluetooth待ち受けを終了します。

データ通信の使いかた

● データ通信の準備をする

パソコンとWX310KをUSBケーブルで接続してデータ通信をするために必要なものは、以下のとおりです。

- ・USBケーブル
- ・USB端子を備えたノートパソコンなど各種情報端末
- ・通信ソフト

また、パソコンとWX310KをBluetooth™で接続してデータ通信をするためには、Bluetooth™に対応したパソコンなどの各種情報端末が必要です。

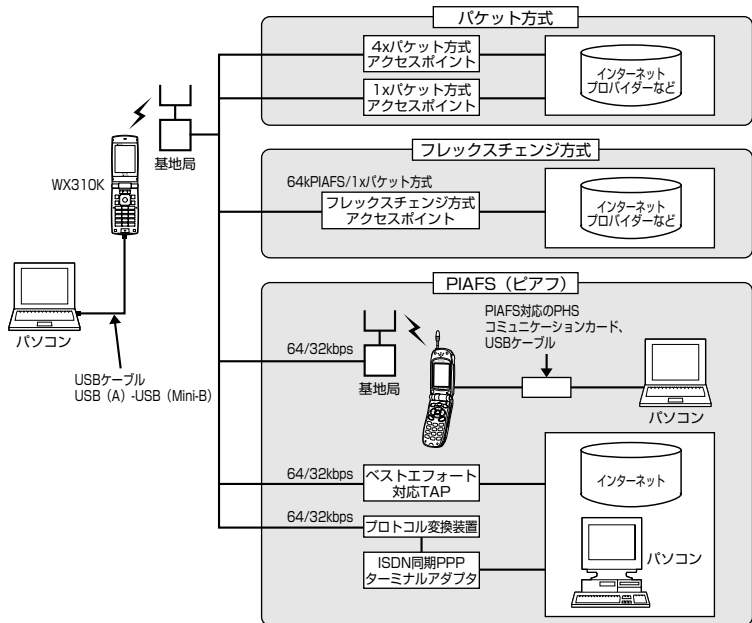
● データ通信について

WX310Kで利用できるデータ通信方式は、以下の方式があります。

通信方式	説明	付加番号	
4xパケット方式	ウィルコムが提供しているパケット通信方式です。情報をパケットに分割して、パケット単位で情報をやりとりする方式です。数分程度電波が弱くなったり途切れたりしても、できるだけ回線を維持し、より信頼性の高い通信環境を実現します。	##64	
1xパケット方式	ご利用になるには、ウィルコムの1xパケット/4xパケット方式に対応した料金コースにご契約いただき、アクセスポイントに接続してください。	##61	
フレックス チェンジ方式	ウィルコムが提供する、1xパケット方式と64kPIAFS（ベストエフォート方式）の通信方式を、送受信されるデータ量や通信状況に応じて自動的に切り替える方式です。安定した速度を得ることができるため、より快適にデータ通信をご利用できます。 ご利用になるには、ウィルコムのフレックスチェンジ方式に対応した料金コースにご契約いただき、専用のアクセスポイントに接続してください。	##7	
32kPIAFS	PHSの通信標準規格で最大通信速度32kbpsの通信方式です。	##3	
64kPIAFS	ベストエフォート方式	ウィルコムが提供する、最大通信速度64kbpsのデータ通信方式です。基地局の利用状況など、通信環境に対応して64/32kbpsの通信速度を選択し、切れにくい通信環境を実現します。	##4
	ギャランティ方式	64kbps固定でのデータ通信方式です。64kbpsの通信が確保できない場合は切断します。	

● ご注意

- パケット方式を使用する場合は、「発信者番号通知」(43ページ)を「ON」に設定してください。
- パソコンへのメールソフトの設定、ダイヤルアップの設定につきましては、各プロバイダーにお問い合わせください。
- PIAFS方式で使用する場合でも、プロバイダーによっては「発信者番号通知」(43ページ)を「ON」に設定する必要があります。
- ダイヤルアップ用の電話番号の最後に、必ずご利用の通信方式に合わせた付加番号を入力してください。



お知らせ

- PIAFSとは、PHS Internet Access Forum Standardの略で、PHSでデータ通信を行う場合の標準規格です。
- bpsとは、Bits Per Secondの略で、データ通信で送る情報量の単位です。1秒間に何ビットのデータを送ることができるかを示します。
- 無線FAX、無線モデム、無線インターネットには対応していません。

データ通信に関してのお問い合わせ窓口

ウィルコムサービスセンター

- ウィルコムの電話から 局番なしの157 (無料)
- 一般加入電話/公衆電話から 0120-921-157 (無料)
※携帯電話・PHSからもかけられます。

受付時間：9：00～21：00 (日・祝日も受付)

(2005年9月現在)

● 64kPIAFSの通信方式を設定する（データ通信方式）

機能番号92

64kPIAFS通信の方式を、「ベストエフォート型」と「ギャランティ型」から選択することができます。

お買い上げ時：
「ベストエフォート型」

待受画面で > > > 「ベストエフォート型」または 「ギャランティ型」

お知らせ

- ウィルコムと契約をされている場合は、 「ベストエフォート型」に設定してください。
- ウィルコム以外の事業者と契約をされている場合は、各事業者の通信方式を確認してください。

● WX310Kとパソコンを接続する

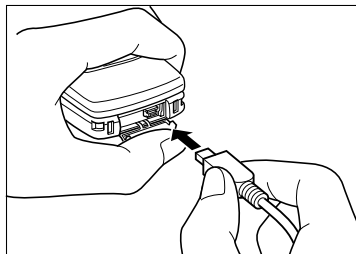
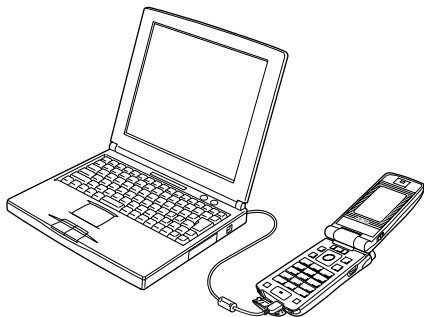
データ通信をするためにWX310Kとパソコンを接続するには、以下の2種類の方法があります。

- ・ USBケーブルで接続する
- ・ Bluetooth™で接続する

USBケーブルで接続する

- 1 パソコンを起動する ▶ 付属のCD-ROMからUSBドライバをインストールする
- 2 USBケーブルの幅広コネクタの向きをよく確認し、パソコンのUSBポートに接続する
- 3 WX310K本体のUSB端子カバーをはずし、USBケーブルのMini-BコネクタをUSB端子にまっすぐ差し込む

接続が完了し、データ通信が可能な状態になったときは「ピポ」という確認音が鳴ります（着信音が設定されているとき）。ただし、パソコン側で低消費電流設定をしていると、接続しても「データ通信OK」と表示されないことがあります。



USB端子のカバーを押さえて、USBケーブルを差し込んでください。

お知らせ



- USBケーブルを取りはずすときは、接続と逆の順序で行ってください。
- ご使用になるパソコンなどの詳しい設定や操作については、パソコンなどに付属の取扱説明書をお読みください。
- WX310Kを充電器に置いて充電しながらデータ通信を行うと、バッテリーの消費を節約することができます。
- 同梱品以外のUSBケーブルを使用される場合は、USB 1.1以上の認定品をご使用ください。USBケーブルの最大電流は470mAです。

WX310Kをパソコンと接続したときに使用するUSBモードを切り替えます。

お買い上げ時：
「モデム&ユーティリティ」

待受画面で  ▶  ▶ 

以下の項目から選択します。

<p> 1 モデム</p>	<p>WX310Kを、CDC(Communication Device Class)に準拠したUSBモデムとして使用したいときに選択します。CDCに準拠したUSBモデムでは、Macintoshでデータ通信が利用できます。*</p>
<p> 2 モデム&ユーティリティ</p>	<p>WX310Kをモデムとして使用したり、付属CD-ROM内のWindows用のユーティリティを使用したいときに選択します (AH-K3001V/AH-K3002Vと互換)。</p>

* : Windowsがプリインストールされているパソコン (Windows XP、Windows 2000、Windows ME、Windows 98SEがプリインストールされているパソコン)、Mac OS Xがプリインストールされているパソコンの場合、USBケーブルで接続するとモデム情報のインストールを求められます。モデム情報は付属のCD-ROMからインストールしてください。

Bluetooth™で接続する

待受画面で

1  ▶ 「アクセサリ」を選択し、 ▶  「Bluetooth」 ▶  「ダイヤルアップ接続待ち」

2 接続待ち状態時に各種情報端末から接続要求を行う ▶ パスキーを入力し、 「確定」




 お知らせ

● 詳しい接続方法は、「Bluetooth™の使いかた」(186ページ)をご参照ください。

● 発信する

● 待受画面で WX310KとUSBケーブルで接続したパソコンなどで、データ通信の発信操作を行う

- ・ WX310Kのディスプレイに通信方式の種類がアイコン文字で表示されます。
表示されるアイコンは以下のとおりです。


	64kPIAFS (ベストエフォート型)
	64kPIAFS (ギャランティ型)
	32kPIAFS
	パケット方式
	フレックスチェンジ方式

- ・ アクセスポイントに接続すると、WX310Kのディスプレイに通信時間が表示されます。データ通信を終了するには、パソコンからデータ通信を切断します。

● ご注意

- 以下の状態でのご利用は通信切断の原因となりますので、ご注意ください。
 - ・ 電波状態が悪い場所でのご利用
 - ・ 移動しながらのご利用
- 「ダイヤルロック」が設定されているときは、データ通信を利用することはできません（「ダイヤルロックを設定/解除する」158ページ）。

● お知らせ

-  を押しても、データ通信を切断することができます。
- 確実にデータ通信を行うため、データ通信を始める前にWX310Kのバッテリー残量が十分であることを確認してください。
- 分計発信をするときは、電話番号の最後に「.01」を入力します（「料金分計サービスについて」200ページ）。
例：「03-△△△△-△△△△##4.01」
なお、データ通信での分計発信は、PIAFSのみ対応となります。
- データ通信をしたときの電話番号は、発信履歴には記憶されません。
- データ通信中にWX310Kをクローズしてもデータ通信は切断されません。
- 通信設定やデータ通信の発信操作は、使用する通信ソフトにより異なります。詳しくは、通信ソフトの取扱説明書をご参照ください。
- データ通信の通信速度は、接続する機器や通信状況によって変わることがあります。
- 通信速度が遅いと感じるとき
 - ・ 電波や回線の状態が悪いことがあります。
 - ・ パソコンの通信設定が遅い場合があります。パソコンの設定を確認してください。
 - ・ メインディスプレイに「64kPIAFS BE」、「64kPIAFS GR」、「32kPIAFS」、「パケット」と表示されていても、相手のデータ通信速度が遅い場合、実際の通信速度は遅くなります。

● 着信する


データ通信中に パソコンで着信の操作を行う

- ・ WX310Kのディスプレイに「データ着信」と表示されます。
データ通信を終了するときは、パソコンからデータ通信を切断します。


ご注意

- を押すか、またはUSBケーブルを接続しパソコンで着信の操作を行うまで、着信音は鳴り続けます。を押して応答することはできません。

お知らせ

- を押しても、データ通信を切断することができます。
- アドレス帳に登録されている電話番号から着信があったときは、登録名と着信番号が表示されます。ただし、以下の場合は、アドレス帳に登録されている電話番号から着信があった場合でも、登録名は表示されず、着信番号のみが表示されます。
 - ・ アドレス帳制限が「ON」に設定されているとき（「使用制限を設定／解除する」160ページ）
 - ・ 着信した電話番号がシークレット登録されているとき（「シークレットモードを設定する」162ページ）
- 電話をかけてきた相手が発信者番号を非通知にしているときや、公衆電話からの発信のときなどは、以下のように表示されます。

表示内容	非通知理由
ユーザ非通知	相手が番号通知を拒否している
通知不可能	番号通知ができないエリアや電話機からかけている
公衆電話	公衆電話からかけている

- データ通信の着信はデータ通信の発信とは異なり、ダイヤルロックが設定されていても、着信することができます。
- USBケーブルなどの接続ができていない状態でデータ通信を着信したときは、着信中にデータ通信の接続を完了すると、通常どおり受信することができます。を押すと着信を拒否することができます。
- データ通信を着信したときの電話番号は、着信履歴に記憶されます。